

令和4年度 第1回 外国人技能実習機構評議員会

- 1 日時 令和4年6月20日（月）14時00分～15時40分
- 2 場所 東京都立産業貿易センター 浜松町館 第2会議室
- 3 出席者 多賀谷評議員（議長）、上林評議員、川野評議員、奈良評議員、村上評議員、大下評議員、佐久間評議員、堀内評議員

4 議事

- (1) 令和3年度の事業実績
- (2) 令和4年度の事業計画
- (3) 業務の概況等
- (4) その他

5 議事概要

- (1) 令和3年度の事業実績及び令和4年度の事業計画等について、事務局から説明が行われた。
- (2) 評議員からの以下のような意見や質問に対して、事務局から説明が行われた。
 - ・機構は問題が起きたところを適正にしていくことが役割としてあるが、未然防止、予防措置が重要であり、省庁全体で連携することが必要ではないか。
 - ・技能実習制度は、人材育成による国際貢献という立付けと実態がずれていると言われている。こうした点も踏まえ、制度の見直しを進めていただきたい。
 - ・サプライチェーン上の関係先による監理が進めば、今後、監理団体の考え方を見直さなければならなくなることも考えられる。
 - ・相談業務において、労働組合のように技能実習生から相談を受けている団体等と連携して、そこで整理された相談内容を参考にするなど、技能実習生の負担軽減を図るとともに、迅速な救済、解決に向けた取組を検討してもらいたい。
 - ・技能実習生からの相談を受ける体制の整備について、もし、検討されているなら伺いたい。
 - ・機構に母国語で相談できる常勤職員を配置してもらいたい。
 - ・技能実習生の失踪に対しても、フォローをお願いしたい。
 - ・技能実習の継続が困難となった技能実習生への支援等におけるフォローアップについて伺いたい。
 - ・母国語相談の内訳として、技能実習生と元技能実習生の割合を伺いたい。また、特定技能労働者からの相談もあるのか伺いたい。
 - ・機構ホームページに掲載されている実習先変更支援の利用状況を伺いたい。
 - ・技能実習生から転籍希望の相談があった場合の転籍できた割合を伺いたい。

- ・技能実習生のニーズに合った実習実施者がマッチングされるように、監理団体を指導してもらいたい。
- ・改善勧告の増加の主な要因は、実地検査の増加なのか伺いたい。
- ・技能実習生が働いている建設現場にも実地検査を行ってもらいたい。
- ・規則等が変わったときなどには、監理団体に対し、その内容を丁寧に説明してもらいたい。
- ・改善勧告等を行った後のフォローアップ（是正状況の確認等）を、定期的を実施するとともに違反事例の内容を分析して、抜本的な解決に資する取組を引き続きお願いしたい。
- ・技能実習に関する二国間取り決めの今後の見通しを伺いたい。
- ・不適切な送出国の取締りを強化してもらいたい。
- ・ベトナムの4つの送出国からの受入れ停止措置によって、失踪者の発生が減少しているのか伺いたい。
- ・機構での審査において、建設キャリアアップシステムの登録状況をどのように確認しているか伺いたい。
- ・フォローアップ調査の回答結果について積極的に広報するとともに、回答率を上げるための施策を検討してもらいたい。
- ・帰国後技能実習生に対する支援実態等調査について、団体監理型と企業単独型に分けて公表してもらいたい。
- ・運用要領に改定があったときには、改定内容を必ずホームページに掲載してもらいたい。
- ・監理団体からの技能実習生の引き抜きの実態について、把握しているなら伺いたい。
- ・実地検査や客観的な資料の入手により、技能実習生が死亡や失踪した原因を把握しているなら伺いたい。
- ・評議員会以外のときも、様々な情報や資料などを評議員に提供してもらいたい。
- ・各種申請等に必要な書類や手続を簡素化してもらいたい。
- ・技能実習生手帳アプリの利用状況を伺いたい。
- ・入国待ちの技能実習生の人数を伺いたい。
- ・現場の実態把握に向けた監理団体とのコミュニケーションをどのようにして図っているのか伺いたい。